

指定管理施設・出資法人調査特別委員会 現地調査活動状況

1 日時 令和2年7月17日（金）

2 出席委員（9名）

委員長 久保田 松幸

副委員長 卯月 政人

委員 猪股 尚彦 渡辺 淳也 乙黒 泰樹 杉原 清仁

桐原 正仁 清水 喜美男 望月 利樹

3 欠席委員 土橋 亨

4 調査先及び調査内容

（1）山梨県立図書館【指定管理施設】

○調査内容（主な質疑）

問） 図書館には「子ども読書支援センター」が設置されているが、活動状況は。

答） 子ども読書支援センターについては、館内児童資料コーナーで司書がサービスを提供しており、大変好評である。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で読み聞かせコーナーを閉じているなど、一部サービスを停止している。具体的な内容、数値などは手元にないので、また後日報告したい。（後日提出）

問） 開館当時、壁面緑化がPRの一つであり、注目してきた。現在の壁面緑化の効果や保守はどうなっているか。

答） 最大限の効果は得られていない。理由は、経年によりプランターの根詰まりが発生しており、生育が遅れていることによる。しかし、季節によっては一定の葉が茂っており、壁面緑化として省エネに一定の寄与をしていると考える。

問） 駐車場の利用度は日々変化があるだろうが、スペース的には十分か。

答） 図書館の利用者だけで満車になることはほとんどない。甲府駅北口のよっちゃばれ広場で大規模なイベントが実施されると、その参加者も当館の駐車場を利用するため、満車になることもある。しかし、図書館利用者は、長時間の利用にならないので、入れ替えは早くできている。

問） 駐車場の料金体系について、1時間以内は無料になるということは公の施設だから当然である。その後、30分過ぎるごとに料金が変わっていくが、民間と比較してどうか。

答） 民間駐車場の運営を圧迫しないことを前提としているため、少し高めの設定となっている。

問） 難しい問題だと思うが、図書館を利用したイベントの主催者が図書館駐車場を長時間利用すると高額になるが、その辺りについて考えてもらえないか。

答) 図書館にも多く寄せられている意見である。駐車場の運営方法について見直し検討の交渉は行っている。一つの案として、金額の上限設定をすることで長時間利用者にメリットが出ることを考えている。しかし、条例上30分という規定がある以上、上限設定は難しいという回答を得ている。引き続き、生涯学習課と相談の上、利用者が満足できる運営を目指す。

問) 指定管理者だから収入源は欠かせないところであるが、利用者の立場であれば当然の意見であるので、頑張っていたきたい。



※図書館2階多目的ホールで説明、質疑を行った後、現地視察を行った。

(2) (公財) 山梨県子牛育成協会【出資法人】、山梨県立まきば公園【指定管理施設】

○調査内容 (主な質疑)

問) 事業報告書に、系統で選抜された和牛とあるが、どのくらいの系統があるのか。

答) 全国的な系統として、但馬など4系統ある。各系統の良い面を組み合わせ、和牛の改良に取り組んでいる。

問) 牛の系統により金額が高くなるとのことだが、どのような組み合わせがあるのか。また、和牛の売値は、どのように決まるのか。

答) やはり、但馬牛との組み合わせが優良だと考えるが、肉用牛は系統の良さだけでなく、ある程度、肉量がとれないと採算がとれなくなる。

問) ラップサイレージ作業とは、どのような作業か。

答) 〈パネルを使って説明〉サイレージの生産手順は、まず牧草を刈り、反転し乾燥させた後、巻き上げてロールにする。

問) まきば公園は大変人気のある施設だと思うが、収益や来園者数はどのような状況か。

答) 公園利用は無料となっているため、県からの委託料1,700万円ほどが収益となっている。また、年間の来園者数は、約24万人である。

問) 天女山分場は広大で景観も良いことから、フィルムコミッションとして最適だと思うが、観光分野との連携はどのようになっているか。

答) まきば公園の撮影許可は、畜産課で対応している。牛が放牧されていて景観も良いことから、フィルムコミッションの撮影許可申請も多い。最近は、ドローンを使った撮影希望が多い。

問) どのくらいの農家から預託を受けているのか。

答) 預託している農家は、45戸くらいで、県内農家の6割程度となっている。

問) 肉用牛農家は減っていると思うので、牧場を利用する農家も減るのではないか。牛の生産振興のためには農家の後継者育成も重要だと考える。

答) 酪農家は、過去5年間で20戸ほど減少しているが、肉用牛農家は横ばいで、頭数はほとんど減っていない。後継者育成については、今年度、やまなし農業基本計画の畜産部門計画を策定予定であるが、畜産農家の後継者育成や八ヶ岳牧場の有効活用などを加えていきたい。



※子牛育成協会看視舎会議室で説明、質疑を行った後、現地視察を行った。

(3) 株式会社清里の森管理公社【出資法人】

○調査内容（主な質疑）

問) 別荘地の売買形態は、土地だけか、それとも建物も付いているのか。

答) 主に、土地に建物が付いた物件を扱っているが、土地だけの場合もある。

問) ここの別荘地は、すべて売却されるのか。それとも、長期賃貸なのか。何通りの契約方法があるのか。

答) 契約方法は3パターンある。底地はすべて県が保有している恩賜林であるため、借地人の借地権がついた土地に借地人の所有権の建物がついた別荘地を第三者に売却するもの。借地人の借地権がついた更地を第三者に売却するもの。それから、県に返還されたものを新たに借地契約する場合がある。

問) 1期から4期まで分譲したとのことだが、現在売れ残っているおよそ30区画は4期地区の中にあるのか。

答) 敷地の外側にある企業や公共団体向けの大型区画の撤退が進んでおり、空き区画が多くある。個人向け区画については、空き区画が満遍なくあり集中している状況ではない。

問) 住民は、どのようなコミュニティーのつくり方をしているのか。

答) 定住者と別荘住民が任意で組織する清里の森自治会があり、二百数十件が加入している。それ以外に、定住者70件ぐらいで構成する北杜市北清里行政区の清里の森班がある。

問) 防災訓練やお祭りなど、公社として自治会組織とどのような関わり方をしているのか。

答) 公社として、消防本部から講師を招いて消火訓練を行うなど、自治会と行政区が行う防災訓練に協力したり、住民が行うお祭りや収穫祭などにも参加している。また、自治会や行政区と定期的に県の担当者を交えた意見交換会も開催している。それから、音楽イベント「涼風祭」を住民とともに開催している。

問) 森の音楽堂の年間稼働率は。

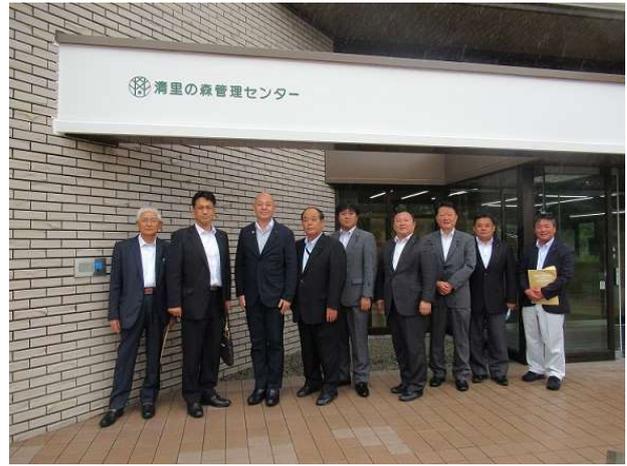
答) イベントは夏期に集中しており、それ以外の季節は貸しホールとして学生などに利用してもらっている。年間稼働率は30日前後となっている。

問) 当期純利益が2期連続で赤字になっているが、過去5年間の状況はどうか。

答) 平成28年度のみ黒字で、その他の年度は赤字となっている。

問) 大変厳しい状況であるが、経営改善計画や抜本的な改革を検討しているか。

答) 県からの空き区画の管理委託を受けたことや、太陽光発電施設により電気代の削減を図ることで、経営改善につなげていきたい。



※森の音楽堂で説明、質疑を行った後、現地視察を行った。